

7月4日：優良株を中心に相場を底上げ

ホーチミン市場は昨日反発し、世界的な市場のポジティブな動きに追随し、優良株から投機的な銘柄まで資金が向かい、幅広く買われた。

アメリカで NY ダウ、ナスダック、S&P500 のすべてが、FRB の利下げに対する期待から大きく上昇した流れを受けた。

アメリカの上昇はベトナム市場にも好影響を与えた。191 銘柄が上昇したのに対し、下落は 112 銘柄となり、VN 指数は 2 日間の続落から 12.65 ポイント (1.32%) 上昇し、973.04 ポイントで引けた。

出来高は 1 億 9,000 万株、売買代金は 4.3 兆ドンに達し、前日からそれぞれ 39%、27%増加した。うち相対売買は 5,450 万株、1.3 兆ドンで銀行の EIB が 3,160 億ドンを占めた。

優良株は豊富な買い需要に支えられ活発に売買された。VN30 銘柄の中では、26 銘柄が上昇したのに対し下落は 2 銘柄にとどまった。14 銘柄が百万株超の出来高を記録し、これはホーチミン市場の出来高の 56%に相当した。

不動産、建設、銀行などが活発に売買され、市場を牽引した。

例えば、不動産大手の VIC と、住宅子会社の VHM はそれぞれ 1%、3.7%上昇し、116,500 ドン、85,000 ドンで引けた。また銀行の BID、TCB、VCB も 2.2%~4.2%の上昇となった。

その一方で投機的な銘柄も後場に資金が流入し、指数、出来高共に押し上げた。不動産デベロッパーの HAG や農業関連子会社の HNG は前場に注目を集めたのに対し、後場は建設の ROS が引けにかけて上昇し注目を集めた。

ROS は引けにかけて買われ、前日までの下落基調を脱し前日比 1.4%高の 29,800 ドンで高値引けした。出来高は 1,300 万株を超え、最も活況な株の一つだった。

ハノイ取引所では、HNX 指数が 0.64%上昇し 103.34 ポイントで引けた。出来高は前日比 26%増の 2,500 万株となったが、売買代金は 6%減少し 3,220 億ドンとなった。

ホーチミン市場と異なり、アパレルの TNG、不動産の HUT、建設の VC3 などの大型株の多くが下落した。

銀行の ACB は前日比 1.4%上昇し 29,300 ドンで引けた。同業の SHB は 380 万株の商いを伴って相場を牽引し、1.5%高の 6,800 ドンで引けた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。